

平成27年度 函館市病院事業の経営実績

平成28年6月
函館市病院局

目 次

I 平成27年度の経営状況

27年度当初に掲げた各目標値に対する実績を記載しています。

- | | |
|---------------|---------|
| 1 患者数等および収支状況 | 1～4 ページ |
| 2 主な経営指標 | 5～6 ページ |

II 過去5か年の経営実績

23～27年度までの経営実績を記載しています。

- | | |
|------------------|---------|
| 1 医業収益（函館病院） | 7～8 ページ |
| 2 医業収益（恵山病院） | 8～9 ページ |
| 3 医業収益（南茅部病院） | 9 ページ |
| 4 未収金の状況 | 10 ページ |
| 5 医業収益に対する材料費の割合 | 11 ページ |

III 改革プラン収支計画との比較

改革プラン収支計画と実績の比較を記載しています。

- | | |
|--------------|--------|
| 1 収支計画と実績の比較 | 12 ページ |
|--------------|--------|

I 平成27年度の経営状況

1 患者数等および収支状況

① 函館病院

入院患者数は、前年度からの工事の影響等による上半期の患者数の落ち込みから、1日平均480人の予算目標に対し34.7人下回り445.3人となりましたが、26年度に比べ、新規入院患者数は53人増加し11,442人となりました。年間平均在院日数は、26年度の14.0日に対して13.2日となっています。精神は医師減により27年度から病棟閉鎖しています。

病床利用率は、26年度の75.1%に対し3.0%下回り72.1%，そのうち結核，感染症，休床を除く利用率は86.1%となっています。

外来患者数は、一般では地域での役割分担が進まず，1日平均1,035人の予算目標に対し59.9人上回り1,094.9人，精神では診療体制の縮小により，15.0人となっています。

平成27年度の決算見込は，当年度資金過不足額が9億252万6千円の赤字となり，対前年比で6,993万7千円のマイナスとなっています。当初予算に対しては6億3,859万7千円のマイナスとなっています。

患者数等の状況，H27決算見込および当初予算の収入および支出の内訳は以下のとおりです。

なお，H26から就航したドクターヘリ分が，収入に補助金等として2億7,956万4千円，支出に経費等として2億8,659万7千円含まれています。

区分	H27予算目標A	H27実績B	差引B-A
入院患者数（一般）	480.0人/日	445.3人/日	△ 34.7人/日
新規入院患者数	(H26実績 11,389人)	11,442人	53人
年間平均在院日数	(H26実績 14.0日)	13.2日	△ 0.8日
外来患者数（一般）	1,035.0人/日	1,094.9人/日	59.9人/日
〃（精神）	5.0人/日	15.0人/日	10.0人/日
病床利用率（一般618床）	(H26実績 75.1%)	72.1%	△ 3.0%
〃（結核，感染症，休床除く）	(H26実績 90.0%)	86.1%	△ 3.9%
病床利用率（精神50床）	(H26実績 23.9%)	0.0%	△ 23.9%

※函館病院病床数 一般618床（一般病床582，結核病床30，感染病床6），精神50床（休床）
 [一般病床の休床：H26末582床中107床，H27末582床中69床，]

科目			H26実績A	H27決算見込B	差引B-A	H27当初予算C	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	11,432,820	11,508,857	76,037	12,104,352	△ 595,495
		外来収益	3,831,964	4,359,117	527,153	3,626,532	732,585
		その他	235,196	229,480	△ 5,716	299,295	△ 69,815
		一般会計繰入金	330,830	309,180	△ 21,650	309,055	125
	医業外・学院収益 (うち一般会計繰入金)		2,191,097 (1,064,081)	2,242,055 (937,158)	50,958 (△ 126,923)	2,272,116 (943,946)	△ 30,061 (△ 6,788)
	特別利益		628,055	214,184	△ 413,871	214,512	△ 328
計			18,649,962	18,862,873	212,911	18,825,862	37,011
費用	医業費用	給与費	8,244,975	8,471,907	226,932	8,737,154	△ 265,247
		材料費	5,559,816	6,028,327	468,511	5,010,466	1,017,861
		経費	2,905,476	2,975,209	69,733	3,071,798	△ 96,589
		その他	1,517,001	1,451,489	△ 65,512	1,471,628	△ 20,139
	医業外・学院・予備費		681,746	672,550	△ 9,196	708,358	△ 35,808
	特別損失		5,168,838	10,359	△ 5,158,479	7,000	3,359
計			24,077,852	19,609,841	△ 4,468,011	19,006,404	603,437
収益-費用(特別利益・損失を除く)			△ 887,107	△ 950,793	△ 63,686	△ 388,054	△ 562,739
収益-費用			△ 5,427,890	△ 746,968	4,680,922	△ 180,542	△ 566,426
損益勘定留保資金等			5,206,266	571,594	△ 4,634,672	660,767	△ 89,173
小計			△ 221,624	△ 175,374	46,250	480,225	△ 655,599
資本的収入 (うち一般会計繰入金)			2,470,415 (707,928)	2,493,131 (858,081)	22,716 (150,153)	2,556,688 (858,088)	△ 63,557 (△ 7)
資本的支出			3,081,380	3,220,283	138,903	3,300,842	△ 80,559
資本的収支差引			△ 610,965	△ 727,152	△ 116,187	△ 744,154	17,002
当年度資金過不足額			△ 832,589	△ 902,526	△ 69,937	△ 263,929	△ 638,597
一般会計繰入金 合計			2,102,839	2,104,419	1,580	2,111,089	△ 6,670

② 恵山病院

入院患者数は、函館病院等からの転院患者の減少等により、1日平均57人の予算目標に対し12.8人下回り44.2人となっています。

外来患者数は、地域の人口減少の影響等により、1日平均69人の予算目標に対し5.2人下回り63.8人となっています。

病床利用率は、26年度の81.5%に対し7.9%下回り73.6%となっています。

平成27年度の決算見込は、当年度資金過不足額が7,287万4千円の赤字となり、対前年比では5,951万7千円のマイナスとなっています。当初予算に対しては7,924万1千円のマイナスとなっています。

患者数等の状況、H27決算見込および当初予算の収入および支出の内訳は以下のとおりです。

区分	H27予算目標A	H27実績B	差引B-A
入院患者数	57.0人/日	44.2人/日	△12.8人/日
外来患者数	69.0人/日	63.8人/日	△5.2人/日
病床利用率	(H26実績 81.5%)	73.6%	△7.9%

※恵山病院病床数 療養60床

科目		H26実績A	H27決算見込B	差引B-A	H27当初予算C	差引B-C
収益	医業収益					
	入院収益	394,983	359,167	△35,816	467,828	△108,661
	外来収益	90,295	89,166	△1,129	90,032	△866
	その他	11,659	13,718	2,059	10,745	2,973
	一般会計繰入金	17,691	17,691	0	17,691	0
医業外収益 (うち一般会計繰入金)		189,345 (146,458)	146,553 (128,060)	△42,792 (△18,398)	146,670 (128,058)	△117 (2)
特別利益		75,966	1,590	△74,376	1,590	0
計		779,939	627,885	△152,054	734,556	△106,671
費用	医業費用					
	給与費	433,193	445,312	12,119	478,249	△32,937
	材料費	65,612	62,053	△3,559	73,207	△11,154
	経費	106,222	104,203	△2,019	127,267	△23,064
	その他	58,368	63,096	4,728	64,233	△1,137
医業外費用		10,857	10,383	△474	11,946	△1,563
特別損失		295,097	244	△294,853	500	△256
計		969,349	685,291	△284,058	755,402	△70,111
収益-費用(特別利益・損失を除く)		29,721	△58,752	△88,473	△21,936	△36,816
収益-費用		△189,410	△57,406	132,004	△20,846	△36,560
損益勘定留保資金等		215,174	△3,485	△218,659	39,792	△43,277
小計		25,764	△60,891	△86,655	18,946	△79,837
資本的収入 (うち一般会計繰入金)		99,808 (66,508)	38,125 (17,425)	△61,683 (△49,083)	55,725 (17,425)	△17,600 (0)
資本的支出		138,929	50,108	△88,821	68,304	△18,196
資本的収支差引		△39,121	△11,983	27,138	△12,579	596
当年度資金過不足額		△13,357	△72,874	△59,517	6,367	△79,241
一般会計繰入金 合計		230,657	163,176	△67,481	163,174	2

③ 南茅部病院

入院患者数は、感染症患者の減少等により、一般で1日平均28人の予算目標に対し5.2人下回り22.8人となっています。

また、療養は14人の予算目標に対し0.9人下回り13.1人となっています。

外来患者数は、地域の人口減少の影響等により、1日平均102人の予算目標に対し11.5人下回り90.5人となっています。

病床利用率は、26年度の69.5%に対し8.6%下回り60.9%となっています。

平成27年度の決算見込は、当年度資金過不足額が1億1,300万5千円の赤字となり、対前年比では726万5千円のマイナスとなっています。当初予算に対しては1,439万3千円のマイナスとなっています。

患者数等の状況、H27決算見込および当初予算の収入および支出の内訳は以下のとおりです。

区分	H27予算目標A	H27実績B	差引B-A
入院患者数（一般）	28.0人/日	22.8人/日	△ 5.2人/日
" （療養）	14.0人/日	13.1人/日	△ 0.9人/日
外来患者数	102.0人/日	90.5人/日	△ 11.5人/日
病床利用率	（H26実績 69.5%）	60.9%	△ 8.6%

※南茅部病院病床数 一般37床、療養22床

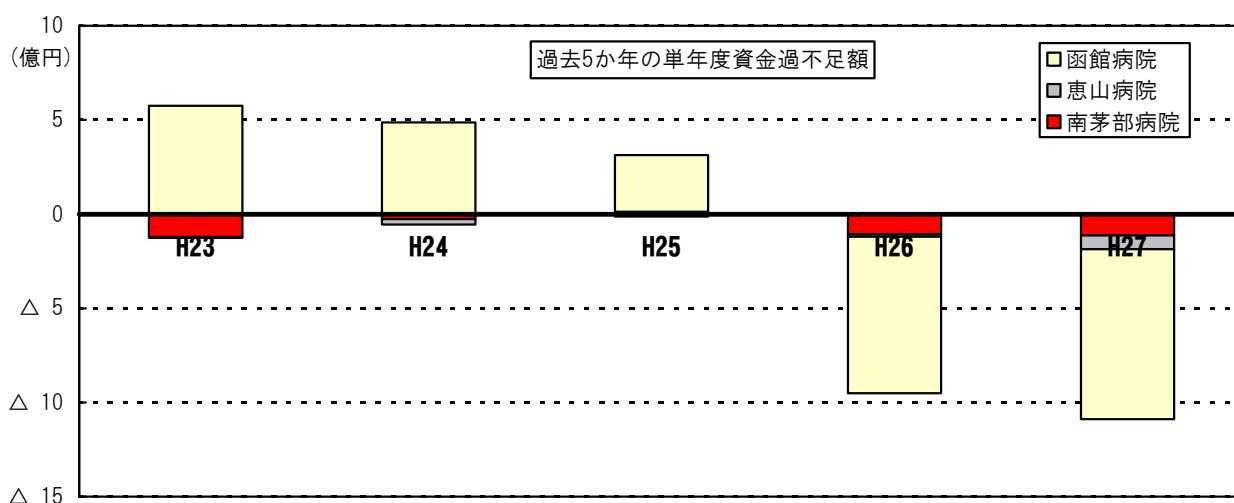
科目			H26実績A	H27決算見込B	差引B-A	H27当初予算C	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	285,438	264,519	△ 20,919	307,449	△ 42,930
		外来収益	130,617	119,732	△ 10,885	131,199	△ 11,467
		その他	10,529	9,856	△ 673	9,759	97
		一般会計繰入金	17,691	17,691	0	17,691	0
	医業外収益		136,855	108,813	△ 28,042	108,767	46
	（うち一般会計繰入金）		(129,659)	(102,291)	(△ 27,368)	(102,217)	(74)
特別利益		16,526	3,860	△ 12,666	3,905	△ 45	
計		597,656	524,471	△ 73,185	578,770	△ 54,299	
費用	医業費用	給与費	396,945	386,807	△ 10,138	395,815	△ 9,008
		材料費	100,342	90,951	△ 9,391	102,393	△ 11,442
		経費	115,270	113,500	△ 1,770	126,982	△ 13,482
		その他	28,518	30,704	2,186	31,704	△ 1,000
	医業外費用		4,812	4,520	△ 292	5,753	△ 1,233
	特別損失		387,625	23	△ 387,602	500	△ 477
計		1,033,512	626,505	△ 407,007	663,147	△ 36,642	
収益-費用（特別利益・損失を除く）			△ 64,757	△ 105,871	△ 41,114	△ 87,782	△ 18,089
収益-費用			△ 435,856	△ 102,034	333,822	△ 84,377	△ 17,657
損益勘定留保資金等			338,851	△ 3,017	△ 341,868	△ 5,862	2,845
小計			△ 97,005	△ 105,051	△ 8,046	△ 90,239	△ 14,812
資本的収入			29,188	29,251	63	30,051	△ 800
（うち一般会計繰入金）			(7,588)	(7,251)	(△ 337)	(7,251)	(0)
資本的支出			37,923	37,205	△ 718	38,424	△ 1,219
資本的収支差引			△ 8,735	△ 7,954	781	△ 8,373	419
当年度資金過不足額			△ 105,740	△ 113,005	△ 7,265	△ 98,612	△ 14,393
一般会計繰入金 合計			154,938	127,233	△ 27,705	127,159	74

④ 3病院合計

3病院を合計した病院事業全体では、27年度、当年度資金過不足額が10億8,840万5千円の赤字となり、対前年比では1億3,671万9千円のマイナスとなっています。当初予算に対しては7億3,223万1千円のマイナスとなっています。なお、H27決算見込および当初予算の収入および支出の内訳は以下のとおりです。

また、参考として、過去5か年の単年度資金過不足額の推移を記載しています。

科目		H26実績A	H27決算見込B	差引B-A	H27当初予算C	差引B-C
収益	医業収益					
	入院収益	12,113,241	12,132,543	19,302	12,879,629	△ 747,086
	外来収益	4,052,876	4,568,015	515,139	3,847,763	720,252
	その他	257,384	253,054	△ 4,330	319,799	△ 66,745
	一般会計繰入金	366,212	344,562	△ 21,650	344,437	125
	計	20,027,557	20,015,229	△ 12,328	20,139,188	△ 123,959
費用	医業費用					
	給与費	9,075,113	9,304,026	228,913	9,611,218	△ 307,192
	材料費	5,725,770	6,181,331	455,561	5,186,066	995,265
	経費	3,126,968	3,192,912	65,944	3,326,047	△ 133,135
	その他	1,603,887	1,545,289	△ 58,598	1,567,565	△ 22,276
	計	26,080,713	20,921,637	△ 5,159,076	20,424,953	496,684
収益-費用(特別利益・損失を除く)		△ 922,143	△ 1,115,416	△ 193,273	△ 497,772	△ 617,644
収益-費用		△ 6,053,156	△ 906,408	5,146,748	△ 285,765	△ 620,643
損益勘定留保資金等		5,760,291	565,092	△ 5,195,199	694,697	△ 129,605
小計		△ 292,865	△ 341,316	△ 48,451	408,932	△ 750,248
資本的収入		2,599,411	2,560,507	△ 38,904	2,642,464	△ 81,957
(うち一般会計繰入金)		(782,024)	(882,757)	(100,733)	(882,764)	(△ 7)
資本的支出		3,258,232	3,307,596	49,364	3,407,570	△ 99,974
資本的収支差引		△ 658,821	△ 747,089	△ 88,268	△ 765,106	18,017
当年度資金過不足額		△ 951,686	△ 1,088,405	△ 136,719	△ 356,174	△ 732,231
一般会計繰入金 合計		2,488,434	2,394,828	△ 93,606	2,401,422	△ 6,594



(単位：千円)

区分	H23	H24	H25	H26	H27
函館病院	577,056	487,868	301,468	△ 832,589	△ 902,526
恵山病院	△ 4,317	△ 28,399	13,260	△ 13,357	△ 72,874
南茅部病院	△ 119,869	△ 26,204	△ 11,484	△ 105,740	△ 113,005
3病院合計	452,870	433,265	303,244	△ 951,686	△ 1,088,405

2 主な経営指標

① 函館病院

【改革プランに掲げた目標とH27実績】

- ① 経常収支比率：H27までに100%以上→H27実績95.1%
- ② 職員給与費比率：H21以降50%以下→H27実績46.5%
- ③ 病床利用率（一般）：H24以降85%以上→H27実績75.8%

（単位：％）

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率（一般）
H19	86.4	84.9	51.9	31.0	15.4	81.5
H20	86.2	84.6	52.1	31.2	13.9	73.6
H21	93.9	91.8	46.9	30.7	13.7	78.3
H22	102.1	99.4	44.0	26.9	11.7	81.9
H23	98.7	96.0	45.6	28.5	12.2	78.2
H24	99.0	95.9	44.5	29.8	13.3	78.1
H25	99.4	96.6	43.2	31.9	14.2	78.8
H26	95.1	89.6	46.7	32.6	15.5	78.9
H27	95.1	89.6	46.5	34.1	17.6	75.8

以下 平成25年度全国平均（500床以上の病院）

民間病院	101.4	100.6	50.7	27.2	15.5	—
公的病院（自治体以外）	101.7	101.5	49.5	29.0	18.5	—
公立病院（黒字）	103.4	99.1	46.3	26.6	13.5	83.3
公立病院（上位1/2）	104.6	100.6	45.5	27.0	13.9	84.2
公立病院（全体）	101.7	97.1	47.7	26.2	13.2	82.4

※ 各指標の算式（消費税抜き）

1. 経常収支比率

$$\text{経常収益（医業収益＋医業外収益）} \div \text{経常費用（医業費用＋医業外費用）} \times 100$$

2. 医業収支比率

$$\text{医業収益} \div \text{医業費用} \times 100$$

3. 職員給与費対医業収益比率

$$\text{職員給与費} \div \text{医業収益} \times 100$$

4. 材料費対医業収益比率

$$\text{材料費} \div \text{医業収益} \times 100$$

5. 薬品費対医業収益比率

$$\text{薬品費} \div \text{医業収益} \times 100$$

② 恵山病院

【改革プランに掲げた目標とH27実績】

- ①経常収支比率：H23までに100%以上→H27実績91.4%
- ②職員給与費比率：H23以降80%以下→H27実績87.3%
- ③病床利用率：H21以降95%以上→H27実績73.6%

(単位：%)

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率
H19	70.0	59.6	93.6	13.8	7.6	85.3
H20	76.0	65.8	89.9	12.1	5.9	90.4
H21	96.1	80.2	72.3	11.1	5.1	96.1
H22	92.9	77.0	76.8	13.0	6.2	89.4
H23	95.9	77.9	75.2	12.1	5.4	87.3
H24	93.1	75.3	78.7	11.7	5.9	88.6
H25	98.3	78.9	72.1	12.9	6.2	81.8
H26	104.3	79.0	73.0	11.8	5.4	81.5
H27	91.4	72.3	87.3	12.0	5.7	73.6

③ 南茅部病院

【改革プランに掲げた目標とH27実績】

- ①経常収支比率：H21までに100%以上→H27実績83.0%
- ②職員給与費比率：H21以降80%以下→H27実績71.1%
- ③病床利用率：H21以降59%以上→H27実績60.9%

(単位：%)

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率
H19	72.3	64.4	68.5	49.0	43.5	68.2
H20	68.5	56.9	91.4	20.4	11.7	59.3
H21	88.3	71.2	70.1	18.5	11.4	62.4
H22	89.5	71.6	70.2	19.1	12.1	53.5
H23	79.6	62.2	92.1	17.2	10.4	52.0
H24	92.7	72.5	67.7	17.7	10.5	62.3
H25	95.4	75.5	64.7	19.4	12.5	71.1
H26	89.8	70.7	71.9	21.0	14.0	69.5
H27	83.0	67.6	71.1	20.6	13.9	60.9

以下 平成25年度全国平均（50床以上100床未満の病院）

公立病院（黒字）	102.7	84.1	62.6	18.6	12.2	68.5
公立病院（上位1/2）	102.2	84.3	61.9	18.7	12.3	68.8
公立病院（全体）	97.8	81.7	64.0	18.9	12.3	68.5

※不採算地区病院分

Ⅱ 過去5か年の経営実績

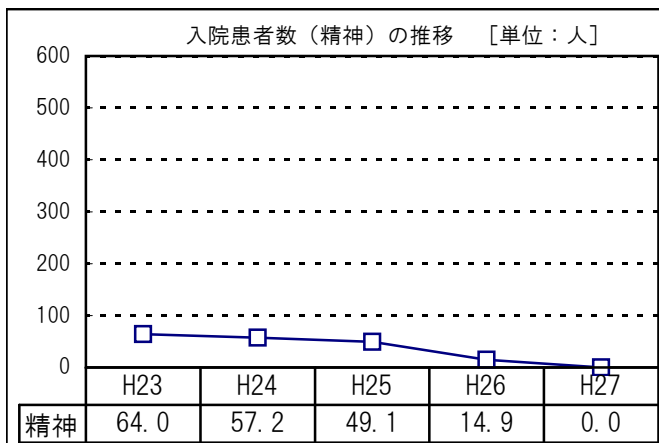
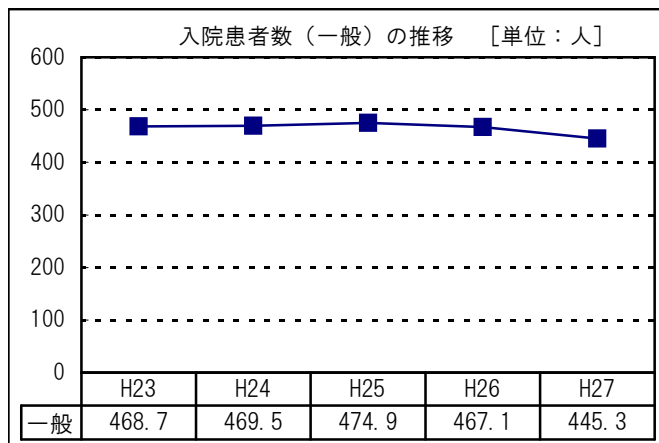
1 医業収益（函館病院）

27年度の1日平均入院患者数は、一般では前年度からの工事の影響や平均在院日数の短縮等により、445.3人で26年度467.1人に対し21.8人の減、精神は医師減により休床となっています。また、新規入院患者数は11,442人で26年度11,389人に対し53人の増となっています。

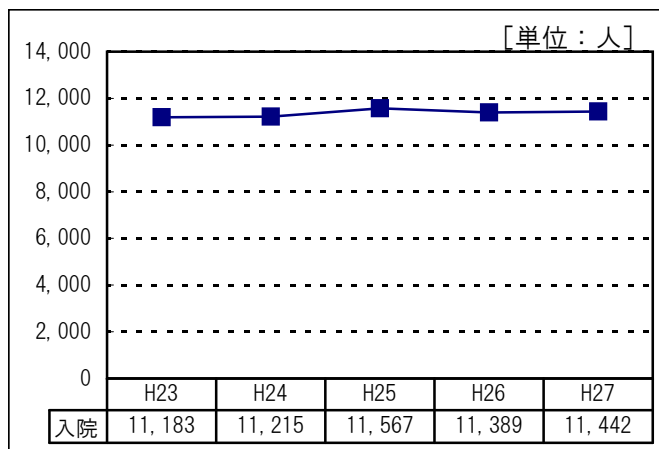
なお、一般の年間平均在院日数は13.2日で26年度14.0日に対し0.8日の減となっています。

27年度の入院患者1人あたり診療単価は、70,607.4円で26年度66,567.4円に対し4,040円の増となっています。

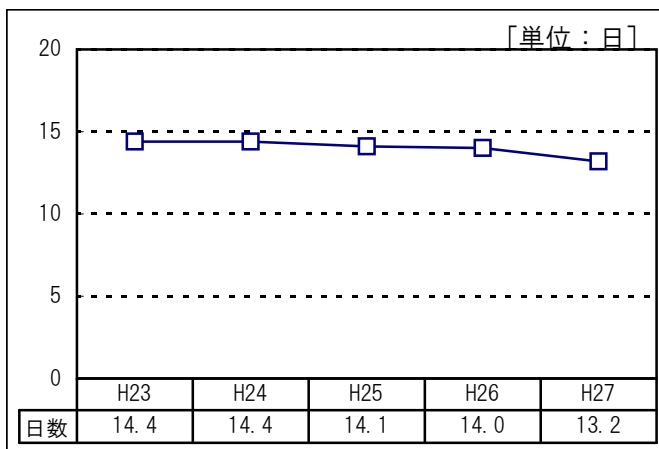
□ 入院患者数（1日平均）



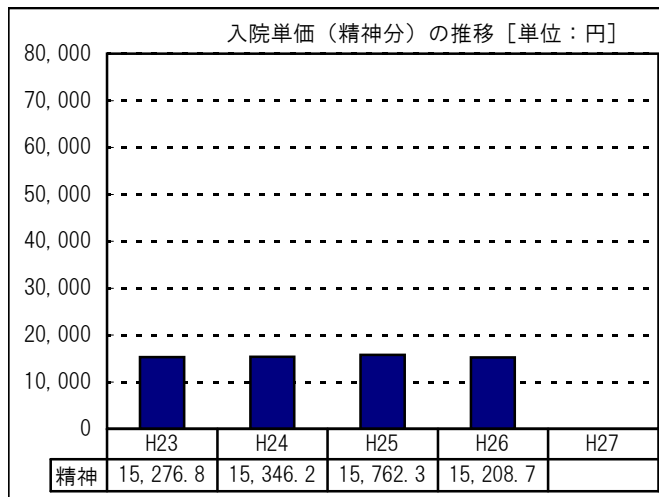
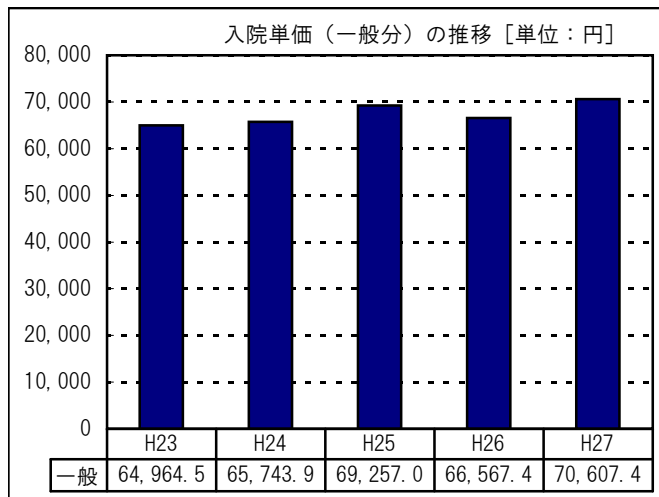
・ 新規入院患者数



・ 年間平均在院日数（一般）



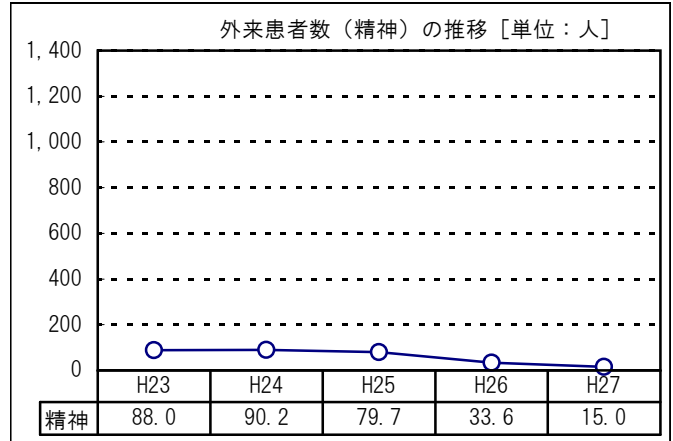
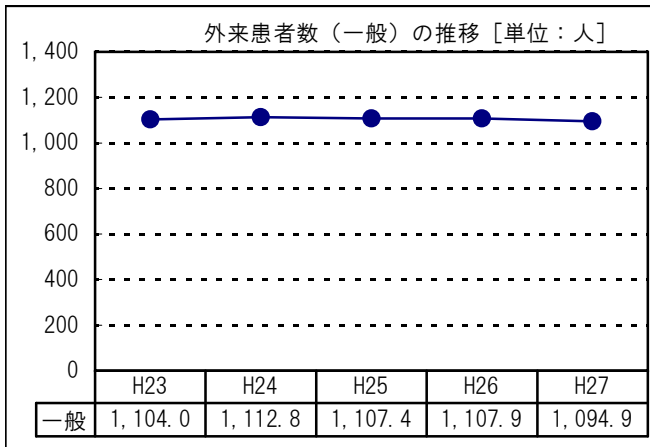
□ 患者1人あたり入院診療単価



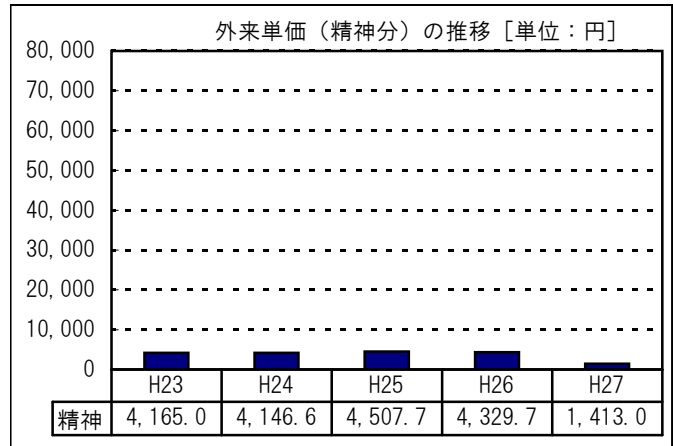
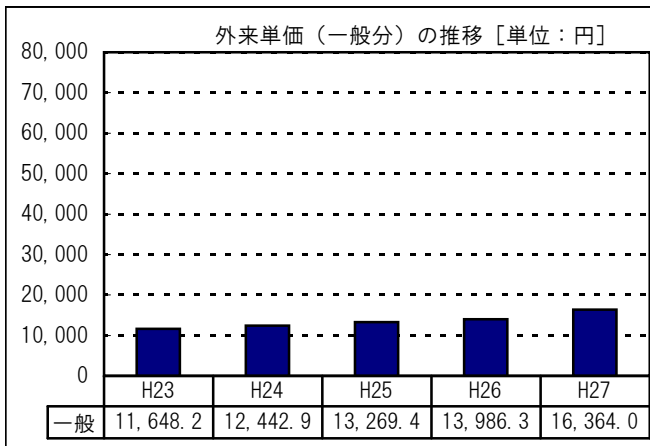
外来患者数は、1日平均、一般1,094.9人で26年度1,107.9人に対し13.0人の減、精神は15.0人で26年度33.6人に対し18.6人の減となっています。

外来患者1人あたり診療単価は、一般で16,364.0円で26年度13,986.3円に対し2,377.7円の増、精神は1,413.0円で26年度4,329.7円に対し2,916.7円の減となっています。

□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり外来診療単価

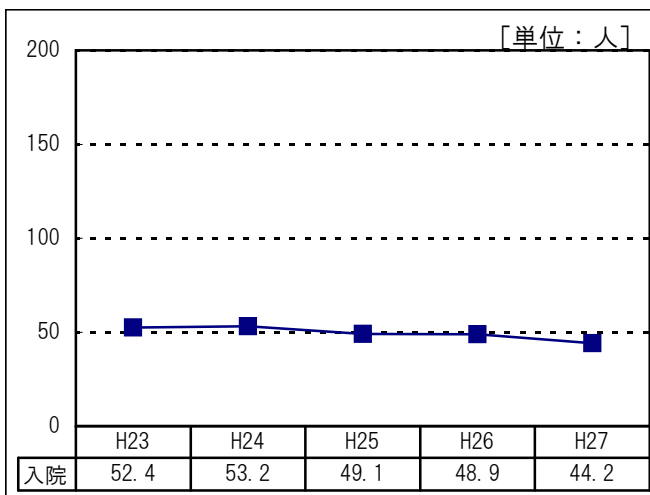


2 医業収益（恵山病院）

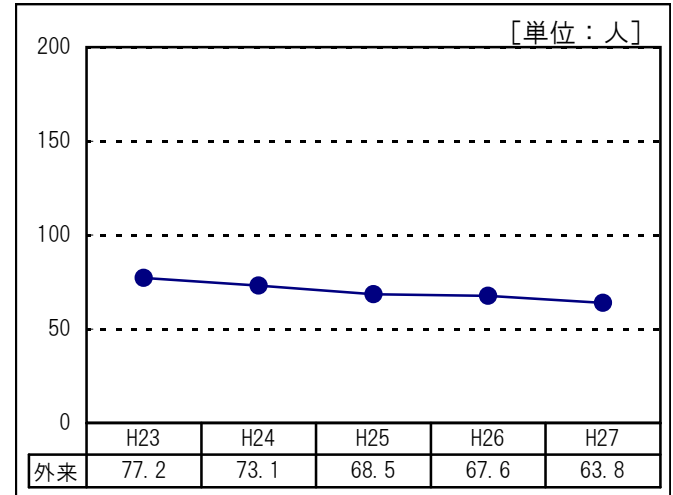
27年度の1日平均入院患者数は44.2人で26年度48.9人に対し4.7人の減、外来患者数は、1日平均63.8人で26年度67.6人に対し3.8人の減となっています。

27年度の入院患者1人あたり診療単価は、22,220.2円で26年度22,130.4円に対し89.8円の増、外来患者1人あたり診療単価は、5,755.2円で26年度5,452.9円に対し302.3円の増となっています。

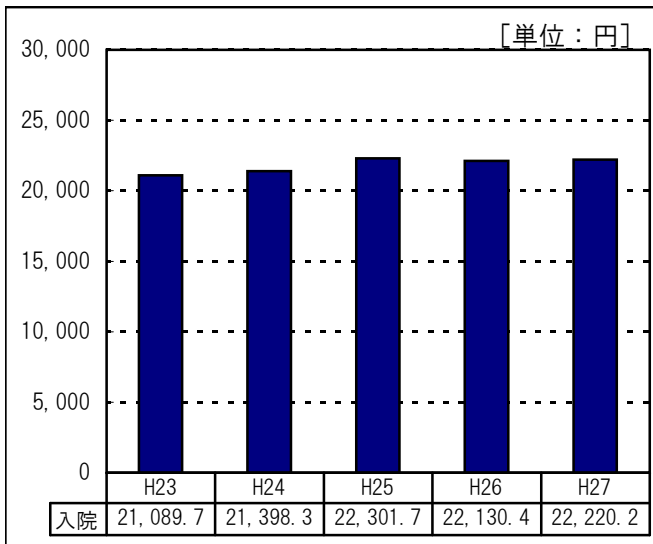
□ 入院患者数（1日平均）



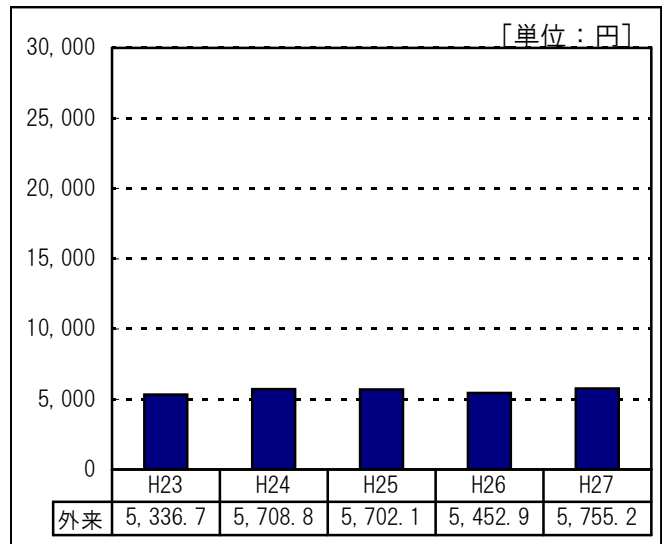
□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



3 医業収益（南茅部病院）

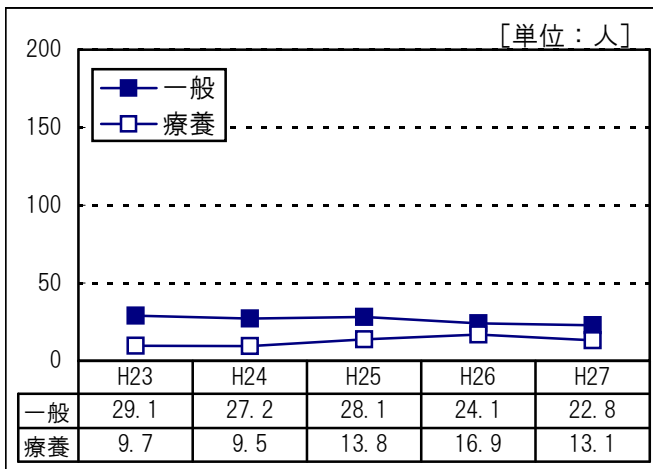
27年度の1日平均入院患者数は、一般22.8人で26年度24.1人に対し1.3人の減、療養13.1人で26年度16.9人に対し3.8人の減となっています。

また、外来患者数は1日平均90.5人で26年度97.8人に対し7.3人の減となっています。

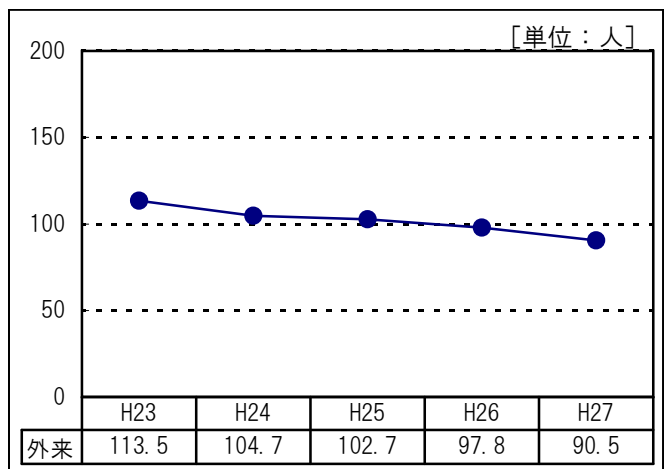
27年度の入院患者1人あたり診療単価は、一般で27,142.4円で26年度26,880.2円に対し262.2円の増、療養は7,865.2円で26年度7,921.6円に対し56.4円の減となっています。

また、外来患者1人あたり診療単価は、5,445.8円で26年度5,451.9円に対し6.1円の減となっています。

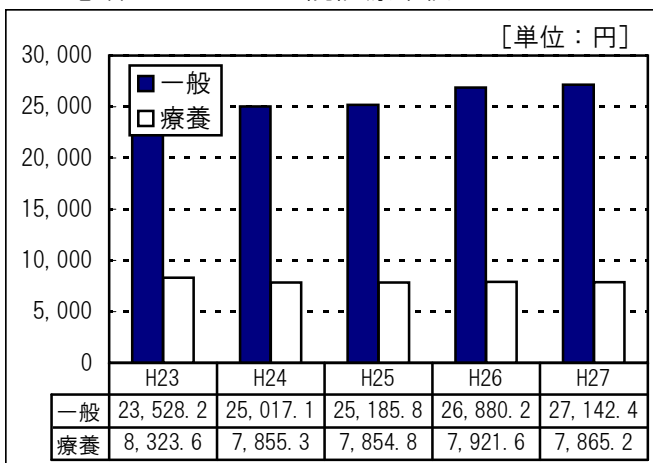
□ 入院患者数（1日平均）



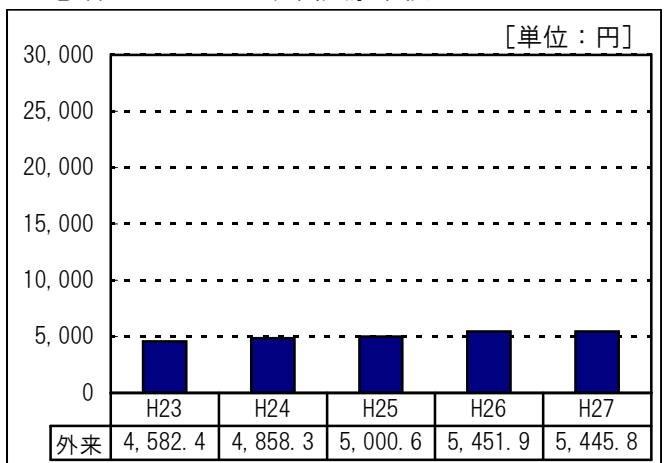
□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



4 未収金の状況

函館病院では、未収金対策として、特に新規滞納を発生させないための取り組みとして、19年度から入院時説明コーナーの開設や夜間救急の即日徴収、休日退院の事前精算等の実施、納付相談の強化などを行っており、20年度にはクレジットカード納付の導入、22年度にはコンビニ納付を導入しています。また、未納者に対しては、内容証明郵便の送付や支払督促申立てを行っており、24年度から債権差押命令の申立て、27年度から未収金回収業務の弁護士への委託も行いました。

函館病院の27年度の未収額は、150,599千円で26年度144,299千円に対し6,300千円の増となっています。なお回収不能な未収金22,969千円については不納欠損処分を行いました。

恵山病院の27年度の未収額は、2,144千円で26年度1,969千円に対し175千円の増となっています。なお回収不能な未収金74千円については不納欠損処分を行いました。

南茅部病院の27年度の未収額は、3,886千円で26年度3,950千円に対し64千円の減となっています。なお回収不能な未収金541千円については不納欠損処分を行いました。

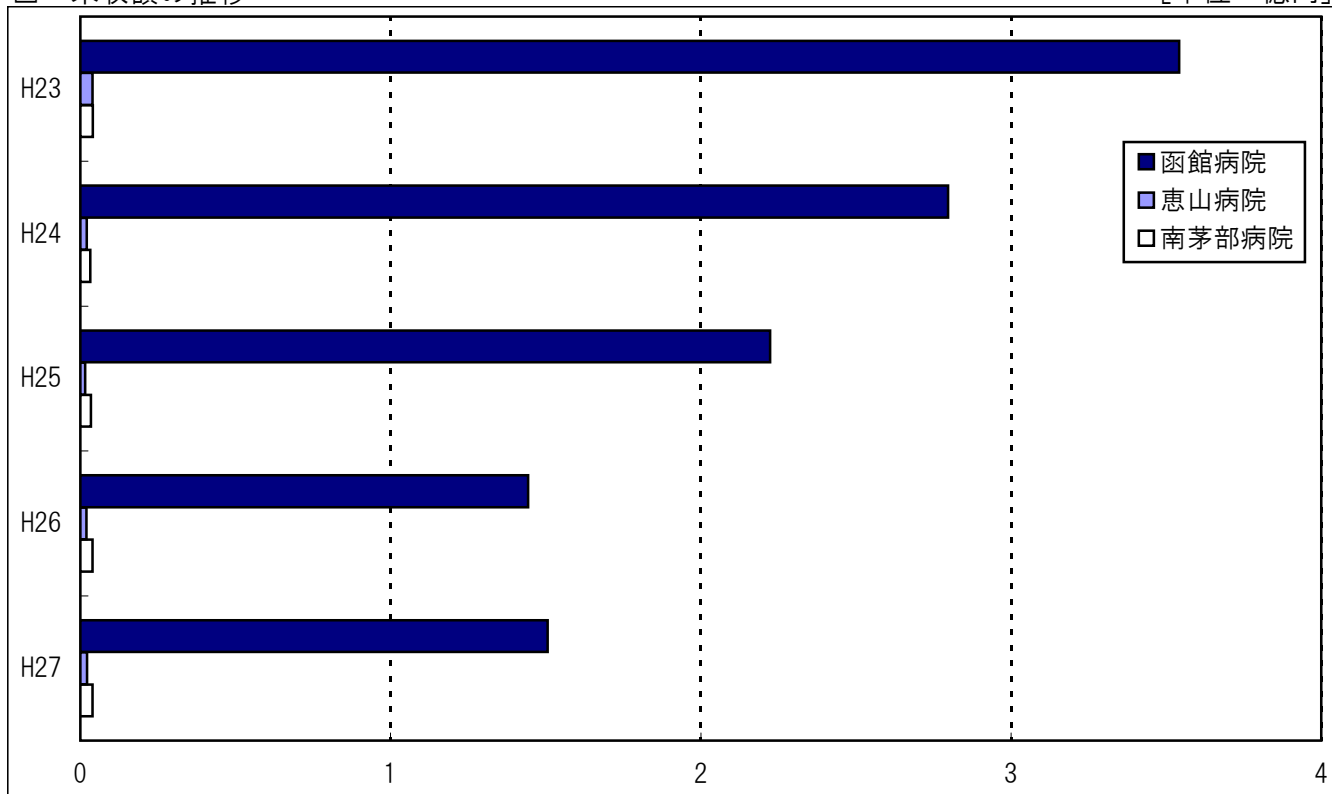
また、会計基準の変更に伴い26年度から貸倒引当金を計上していますが、発生から3年を超過したものについては全額を引当額とし、発生から3年以内の債権については、貸倒実績率の過去3か年の平均により引当額を決定しています。

[単位：千円]

区分		H23	H24	H25	H26	H27
未収額	函館病院	354,233	279,653	222,294	144,299	150,599
	恵山病院	3,871	2,114	1,510	1,969	2,144
	南茅部病院	4,027	3,229	3,452	3,950	3,886
	3病院合計	362,131	284,996	227,256	150,218	156,629
貸倒引当額	函館病院				△ 53,164	△ 43,749
	恵山病院				△ 776	△ 787
	南茅部病院				△ 317	△ 359
	3病院合計				△ 54,257	△ 44,895

□ 未収額の推移

[単位：億円]



5 医療収益に対する材料費の割合

市立函館病院のジェネリック医薬品の採用率は、27年度 品目数ベースで70.6%となっており、26年度の66.4%に対し4.2%上回っています。

薬品費全体では、新しい肝炎の治療薬が保険適用となったことなどにより、対前年比471,770千円増の3,940,406千円（うち新規肝炎治療薬580,061千円）となっており、診療材料は対前年比10,492千円増の1,976,437千円となっています。

なお、医療収益は入院・外来収益の合計で603,190千円の増となり、材料費が医療収益に占める割合は26年度に対して1.69%の増の37.29%となっています（新規肝炎治療薬を除いた場合34.99%）。

【ジェネリック医薬品の採用状況】

※品目数ベース

ジェネリック医薬品採用数÷使用薬品の内ジェネリック医薬品がある薬品数×100

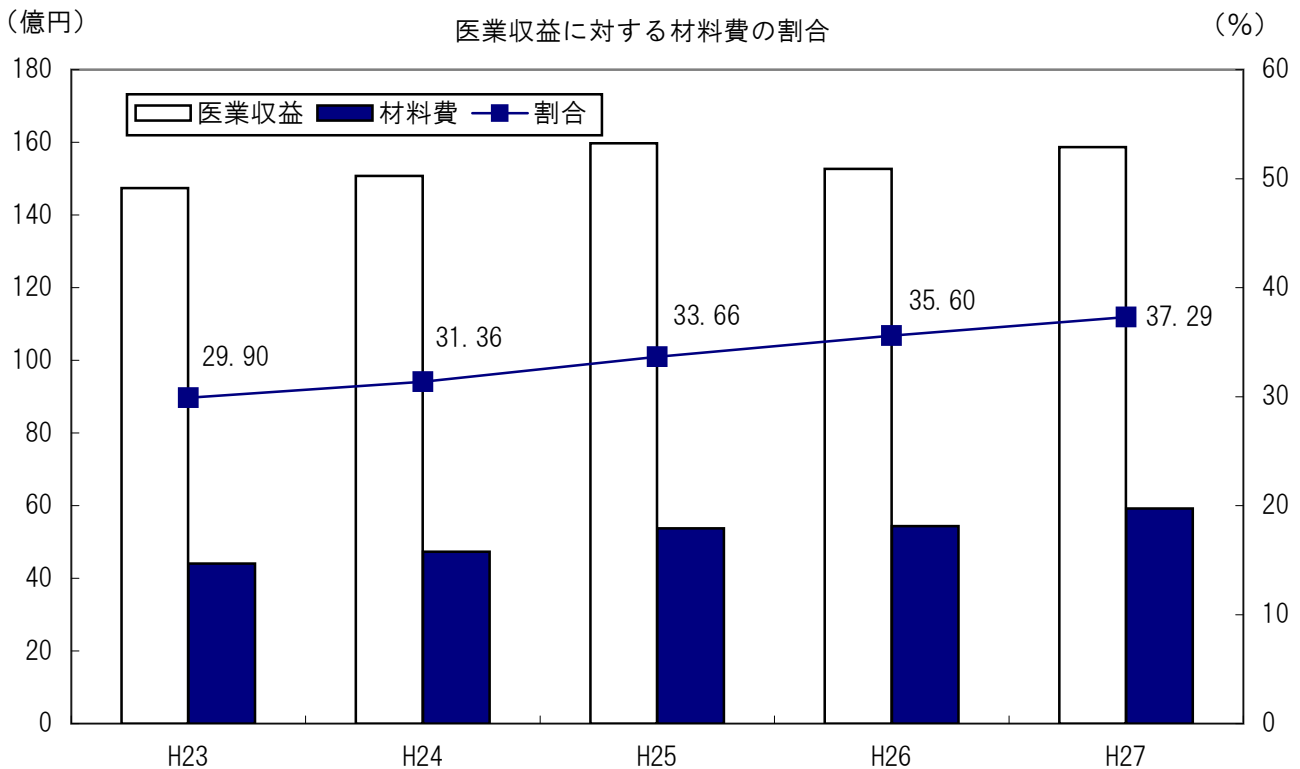
H26. 3月末現在
58.6%



H27. 3月末現在
66.4%



H28. 3月末現在
70.6%



[単位: 千円]

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H27-H26
入院収益	11,502,569	11,587,324	12,287,290	11,432,820	11,508,857	76,037
外来収益	3,240,221	3,483,936	3,688,070	3,831,964	4,359,117	527,153
計 A	14,742,790	15,071,260	15,975,360	15,264,784	15,867,974	603,190
薬品費	2,527,630	2,854,780	3,363,743	3,468,636	3,940,406	471,770
診療材料費	1,880,631	1,872,274	2,014,089	1,965,945	1,976,437	10,492
計 B	4,408,261	4,727,054	5,377,832	5,434,581	5,916,843	482,262
B÷A×100	29.90%	31.36%	33.66%	35.60%	37.29%	1.69%

※消費税込みの額で算出しているため6ページの材料費対医療収益比率とは一致しません。

また、H25以前の入院収益は旧基準の数値となっています。

Ⅲ 改革プラン収支計画との比較

1 収支計画と実績の比較

▼改革プラン収支計画（H23.2月改訂）と実績（※収支計画，実績ともに特例債分を除いたもの）

（単位：百万円）

区 分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
函館病院							
単年度 資金過不足額 実績	△ 250	1,403	577	488	301	△ 832	△ 903
累 積 " "	△ 2,249	△ 846	△ 268	220	521	△ 311	△ 1,214
単年度 資金過不足額 計画	△ 250	870	923	521	367	314	261
累 積 " "	△ 2,249	△ 1,379	△ 456	65	432	746	1,007
恵山病院							
単年度 資金過不足額 実績	11	△ 26	△ 4	△ 28	13	△ 13	△ 73
累 積 " "	△ 199	△ 225	△ 230	△ 258	△ 245	△ 258	△ 331
単年度 資金過不足額 計画	11	△ 45	8	△ 49	9	△ 30	△ 28
累 積 " "	△ 199	△ 244	△ 236	△ 285	△ 276	△ 306	△ 334
南茅部病院							
単年度 資金過不足額 実績	△ 45	△ 63	△ 120	△ 26	△ 11	△ 106	△ 113
累 積 " "	△ 8	△ 72	△ 192	△ 218	△ 229	△ 335	△ 448
単年度 資金過不足額 計画	△ 45	△ 71	△ 71	△ 34	△ 86	△ 170	△ 149
累 積 " "	△ 8	△ 79	△ 150	△ 184	△ 270	△ 440	△ 589
単年度資金過不足額 計							
実 績	△ 284	1,314	453	434	303	△ 951	△ 1,089
計 画	△ 284	754	860	438	290	114	84
累積資金過不足額 計							
実 績	△ 2,456	△ 1,143	△ 690	△ 256	47	△ 904	△ 1,993
計 画	△ 2,456	△ 1,702	△ 842	△ 404	△ 114	0	84

一般会計繰入金							
実 績	2,689	2,948	2,561	2,536	2,402	2,488	2,395
計 画	2,689	2,953	3,057	2,711	2,574	2,492	2,421

参考：特例債分含んだ一般会計繰入金							
実 績	2,689	2,948	5,487	2,536	2,402	2,488	2,395
計 画	2,689	2,953	3,642	3,296	3,159	3,077	3,006

※ 実績欄はH27まで決算額

▼収支計画と実績の主な相違点

- ① 一般会計繰入金
 - 計画：経営健全化分等としてH21は2億円，H22～H23は4.8億円，H24以降は毎年2億円を繰入。
 - 実績：経営健全化分等はH23から繰入なし。
- ② 企業債
 - 計画：H26より計上。
 - 実績：H23特例債繰上償還により，資金不足比率が10%を下回ったためH24より発行。
- ③ 地域医療再生計画事業費補助金
 - 計画：計上なし。
 - 実績：H23からH25の3年間で約5億3,400万円の補助金の交付。
- ④ 公立病院特例債の繰上償還
 - 計画：29億2,610万円をH23からH27の5か年で一般会計繰入金を財源として償還。
 - 実績：H23一般会計からの繰り入れにより29億2,610万円を全額繰上償還。
- ⑤ 消費税率の増
 - 計画：計上なし。
 - 実績：H26から3%アップ（診療報酬は0.1%のアップ）